



なかしん

中小企業景況レポート

No.11 中栄信用金庫 地域支援部

平成 26 年 4 月～6 月実績と平成 26 年 7 月～9 月見込み

◆調査概要

調査時期 平成 26 年 6 月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 335 社
回答企業数 326 社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	94	90	95.7
卸売業	23	23	100.0
小売・飲食業	69	67	97.1
サービス業	50	48	96.0
建設業	58	58	100.0
不動産業	41	40	97.5
合 計	335	326	97.3

◆4月～6月期の概況

～業況悪化となるも、駆け込み需要の反動減は限定的となる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲13.2 を示し、前回調査（平成 26 年 1 月～3 月期）に比べ 11.2 ポイントの悪化となりました。前回調査時における大手企業の生産調整の動きや天候不順の影響に落ち着きがみられたものの、消費増税による駆け込み需要の反動減や原材料価格上昇分の販売価格への転嫁が遅れている企業もあることから、売上・収益 D.I. は悪化となっております。しかし、駆け込み需要による反動減の影響も徐々に回復しているという企業も見受けられることに加え、前回調査時における今期の予想業況判断▲25.7 に比べ、悪化幅は小幅に止まったことから、増税による影響は限定的なものと思われます。

また、今回調査においては、仕入価格 D.I. は 17.8 ポイント上昇の 46.9 と原材料価格の上昇感が強まっており、同業者間の競争激化や販売先からの値下げ要請などの販売単価の下落により、依然として収益環境は厳しい状況となっております。

項目別にみると、売上実績 D.I. は前回調査比 5.2 ポイント悪化の▲6.5、収益実績 D.I. は前回調査比 8.9 ポイント悪化の▲13.9 となっております。また、仕入価格 D.I. は 46.9、資金繰りは 6.5 ポイント改善の▲13.0、人手過不足については、7.7 ポイント不足感が弱まり▲19.7 となっております。

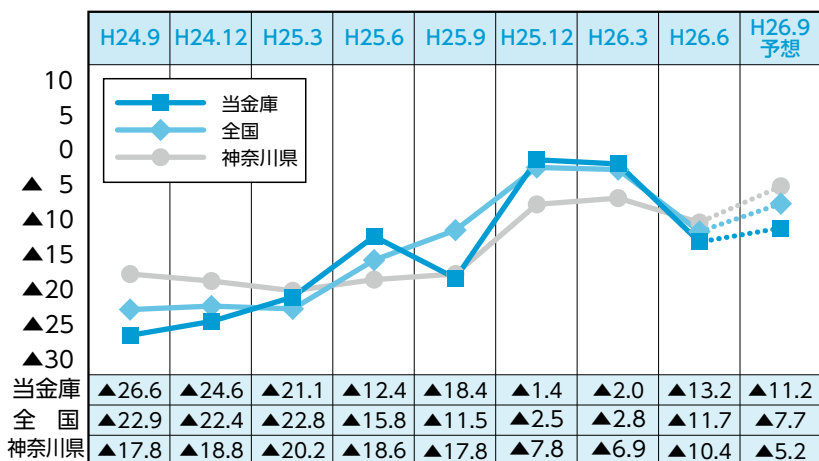
また、業種別の景況感は、不動産業が 5.7 ポイント改善の▲17.5、小売・飲食業が 4.6 ポイント改善の▲37.3、製造業が 16.0 ポイント悪化の▲2.2、サービス業が 19.5 ポイント悪化の▲12.5、卸売業が 21.8 ポイント悪化の▲21.8、建設業が 28.0 ポイント悪化の 3.4 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は、前回調査から 8.9 ポイント悪化の▲11.7、神奈川県内は、3.5 ポイント悪化の▲10.4 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆7月～9月期の見通し

例年、夏場の景況感は落ち込む傾向にある中、来期の業況判断予想は 2.0 ポイント改善の▲11.2、売上額 D.I. は 4.3 ポイント改善の▲2.2、収益 D.I. は 4.5 ポイント改善の▲9.4 の予想となり、業種別では、小売・飲食業以外の 5 業種で改善の見込みとなっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

概況

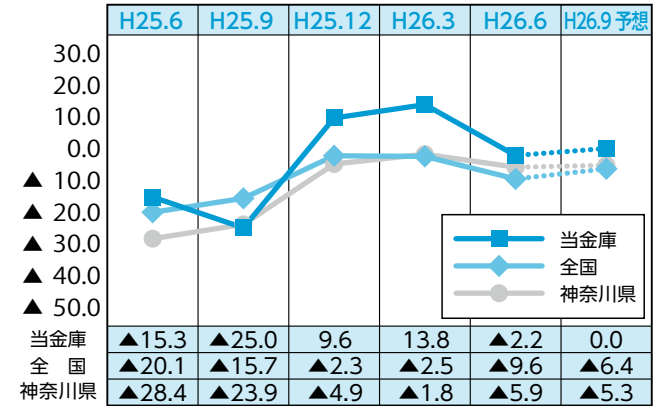
製造業の業況判断D.I.は前回調査比16.0ポイント悪化の▲2.2と3期ぶりに悪化となりました。項目別では、売上額D.I.は18.0ポイント悪化の▲5.6、収益D.I.は23.5ポイント悪化の▲12.4となっております。消費増税前の駆け込み需要の反動減により、売上額D.I.が悪化となる中、輸出関連企業を中心に受注回復の動きもあることから、その影響は限定的なものと思われ、総体的には、原材料価格上昇分を販売価格に転嫁できない企業も多く、資金繰りに苦慮している現状が窺えます。

また、工場・機械の狭小・老朽化を経営上の問題点とする企業が増加し、一部企業においては、設備導入による内製化で外注費を削減する動きもみられます。

なお、全国は7.1ポイント悪化の▲9.6となっており、神奈川県は4.1ポイント悪化の▲5.9となっております。

来期の予想業況判断については、2.2ポイント改善の0.0となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	37.0	38.4	24.6	D.I. 12.4
当期実績	24.4	45.6	30.0	▲5.6
来期予想	26.6	47.9	25.5	1.1
前年同期比	34.8	34.9	30.3	4.5

販売価格

前期実績	4.9	89.0	6.1	D.I. ▲1.2
当期実績	6.7	84.4	8.9	▲2.2
来期予想	6.7	87.7	5.6	1.1

在庫

前期実績	7.5	87.5	5.0	D.I. 2.5
当期実績	7.8	90.0	2.2	5.6
来期予想	7.8	87.8	4.4	3.4

人手

前期実績	10.0	63.8	26.2	D.I. ▲16.2
当期実績	11.2	63.0	25.8	▲14.6
来期予想	6.7	69.8	23.5	▲16.8

収益

前期実績	33.3	44.5	22.2	D.I. 11.1
当期実績	16.8	54.0	29.2	▲12.4
来期予想	21.3	49.5	29.2	▲7.9
前年同期比	31.4	37.2	31.4	0.0

原材料価格

前期実績	27.1	71.7	1.2	D.I. 25.9
当期実績	39.7	60.3		39.7
来期予想	28.0	68.7	3.3	24.7

資金繰り

前期実績	8.6	65.5	25.9	D.I. ▲17.3
当期実績	11.2	70.9	17.9	▲6.7
来期予想	7.8	72.0	20.2	▲12.4

設備状況

前期実績	4.9	80.3	14.8	D.I. ▲9.9
当期実績	7.9	79.6	12.5	▲4.6
来期予想	5.7	79.4	14.9	▲9.2

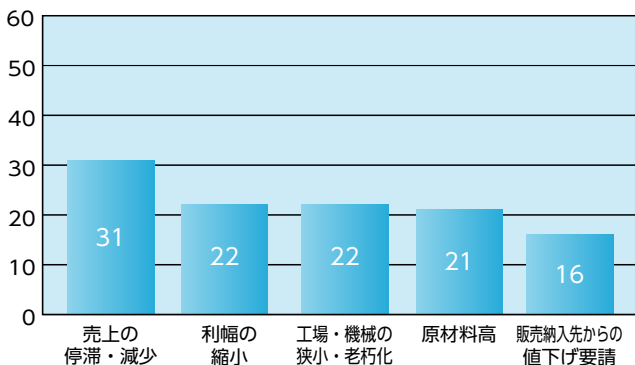
当期実績…26年 4～6月期
来期予想…26年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

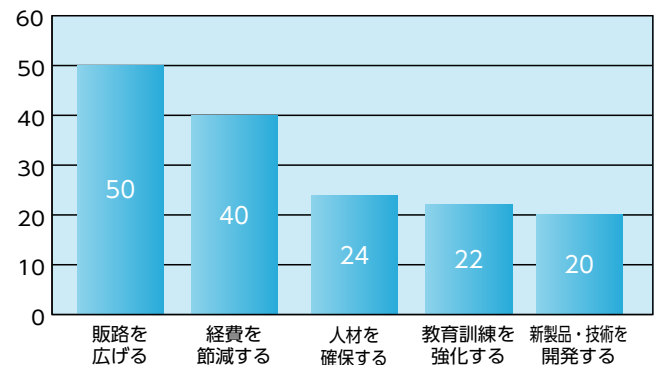
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



卸売業

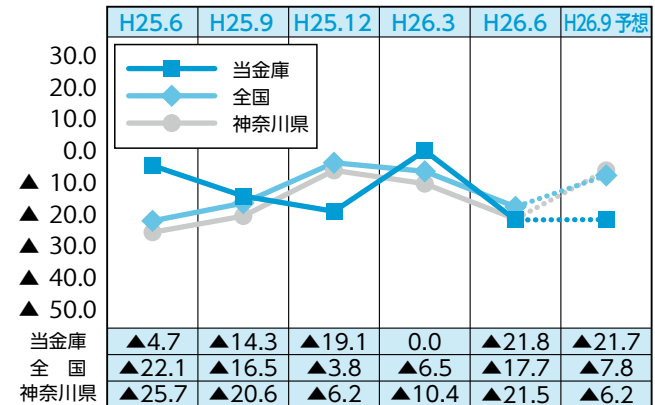
概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 21.8 ポイント悪化の▲21.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 9.5 ポイント悪化の 0.0、収益 D.I. は 18.2 ポイント悪化の▲8.7 となっております。建築材料卸売業においては、前回調査時での大雪の影響による物流への支障や増税前の駆け込み需要による商品不足に落ち着きがみられる一方、取引先建設業の工期遅れから資金繰りの悪化を懸念する声が見受けられます。また、仕入価格の高止まりが続く中、配送頻度や配送ロットの見直しを図り、経費削減に努める企業もみられます。

なお、全国は 11.2 ポイント悪化の▲17.7 となっており、神奈川県は 11.1 ポイント悪化の▲21.5 となっております。

来期の予想業況判断については、ほぼ横這いの▲21.7 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	33.3	42.9	23.8	D.I. 9.5
当期実績	21.7	56.6	21.7	0.0
来期予想	17.3	56.7	26.0	▲8.7
前年同期比	30.4	43.6	26.0	4.4

販売価格

前期実績	15.0	75.0	10.0	D.I. 5.0
当期実績	21.7	74.0	4.3	17.4
来期予想	17.3	78.4	4.3	13.0

在庫

前期実績	15.0	80.0	5.0	D.I. 10.0
当期実績	21.7	69.7	8.6	13.1
来期予想	17.3	78.4	4.3	13.0

人手

前期実績	10.0	55.0	35.0	D.I. ▲25.0
当期実績	17.3	61.0	21.7	▲4.4
来期予想	8.6	69.7	21.7	▲13.1

収益

前期実績	33.3	42.9	23.8	D.I. 9.5
当期実績	17.3	56.7	26.0	▲8.7
来期予想	13.0	61.0	26.0	▲13.0
前年同期比	21.7	47.9	30.4	▲8.7

仕入価格

前期実績	33.3	62.0	4.7	D.I. 28.6
当期実績	56.5	43.5		56.5
来期予想	34.7	65.3		34.7

資金繰り

前期実績	14.2	57.3	28.5	D.I. ▲14.3
当期実績	17.3	61.0	21.7	▲4.4
来期予想	8.6	56.7	34.7	▲26.1

設備状況

前期実績	90.0	10.0		D.I. ▲10.0
当期実績	4.3	78.4	17.3	▲13.0
来期予想	4.3	87.1	8.6	▲4.3

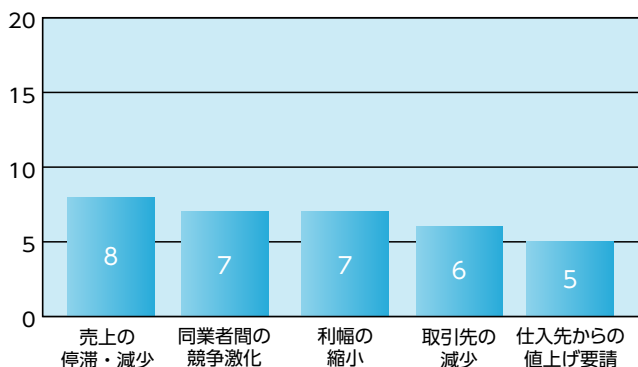
当期実績…26年 4～6 月期
来期予想…26年 7～9 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

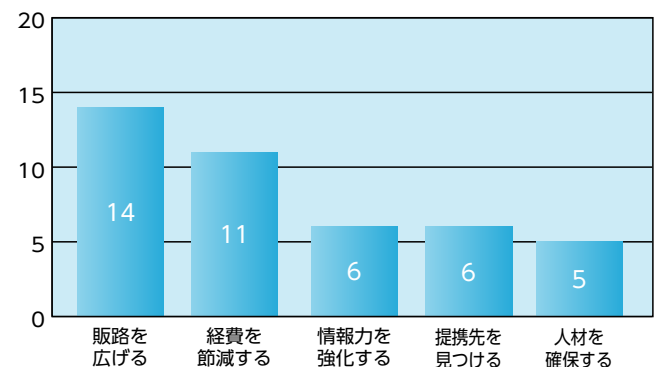
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

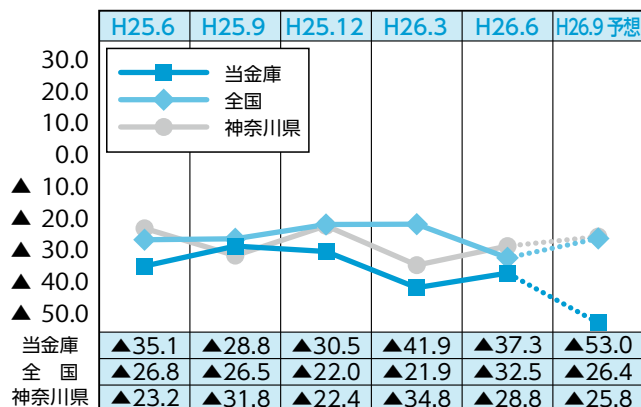
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査から 4.6 ポイント改善の▲37.3 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 5.6 ポイント悪化の▲29.8、収益 D.I. は 6.7 ポイント悪化の▲35.8 となっております。一部企業においては、消費増税に伴いメニューや価格改定を行い、予想していた程の影響はないと回答しているものの、半数以上の企業が売上停滞・減少を経営上の問題点としていることに加え、仕入価格上昇分を充分価格に転嫁できない企業もあることから、業況判断についてはマイナス域が続いており、依然として厳しい業況が窺えます。

なお、全国は 10.6 ポイント悪化の▲32.5 となっており、神奈川県は 6.0 ポイント改善の▲28.8 となっております。

来期の予想業況判断は 15.7 ポイント悪化の▲53.0 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	16.1	43.6	40.3	D.I. ▲24.2
当期実績	17.9	34.4	47.7	▲29.8
来期予想	-10.4	44.9	44.7	▲34.3
前年同期比	19.4	40.4	40.2	▲20.8

販売価格

前期実績	19.3	69.5	11.2	D.I. 8.1
当期実績	34.3	58.3	7.4	26.9
来期予想	-10.4	83.7	5.9	4.5

在庫

前期実績	22.5	67.9	9.6	D.I. 12.9
当期実績	20.8	70.3	8.9	11.9
来期予想	13.4	82.2	4.4	9.0

人手

前期実績	-4.8	63.0	32.2	D.I. ▲27.4
当期実績	-7.4	64.3	28.3	▲20.9
来期予想	12.3	57.0	30.7	▲18.4

収益

前期実績	-9.6	51.7	38.7	D.I. ▲29.1
当期実績	13.4	37.4	49.2	▲35.8
来期予想	-8.9	46.4	44.7	▲35.8
前年同期比	19.4	37.4	43.2	▲23.8

仕入価格

前期実績	33.8	61.4	4.8	D.I. 29.0
当期実績	50.0	47.0	3.0	47.0
来期予想	26.8	68.8	4.4	22.4

資金繰り

前期実績	-4.9	54.2	40.9	D.I. ▲36.0
当期実績	-7.5	62.2	30.3	▲22.8
来期予想	-7.5	59.2	33.3	▲25.8

設備状況

前期実績	83.7	16.3	D.I. ▲16.3
当期実績	4.6	77.0	18.4 ▲13.8
来期予想	3.1	79.5	17.4 ▲14.3

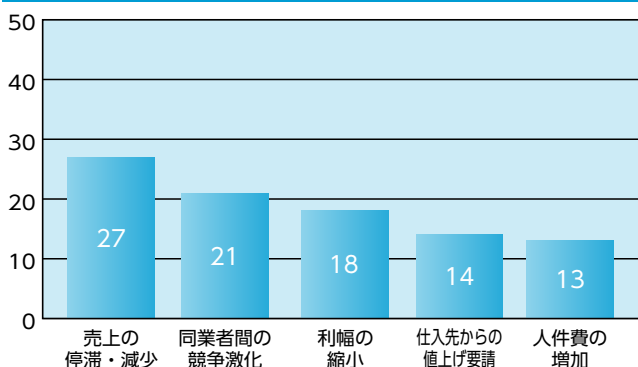
当期実績…26年 4～6 月期
来期予想…26年 7～9 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

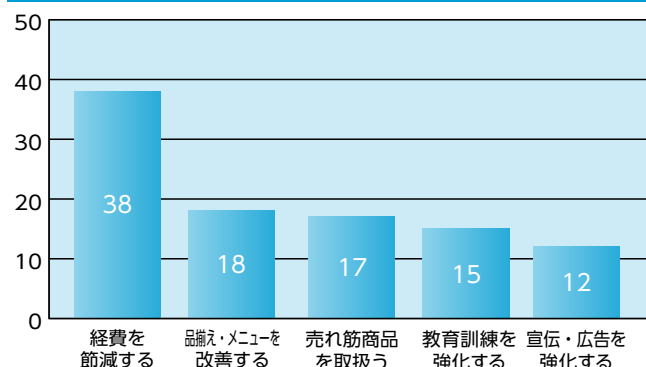
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

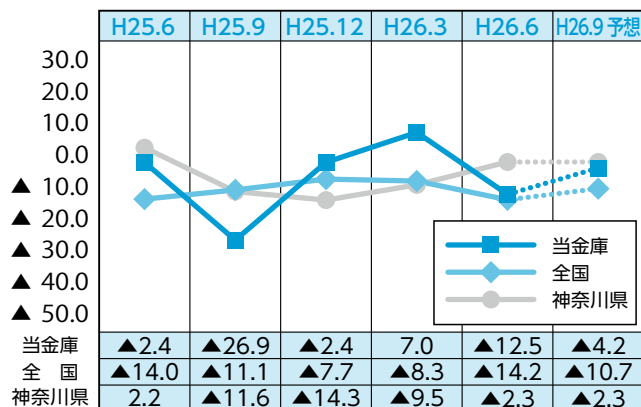
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 19.5 ポイント悪化の▲12.5 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 33.1 ポイント改善の 14.5、収益 D.I. は 16.0 ポイント改善の 2.0、資金繰りは 5.2 ポイント改善の▲25.0 となっております。今回調査においては、大型連休や季節需要による売上増加に加え、消費増税に伴う販売価格の見直しがみられたことから、料金価格 D.I. は 20.6 ポイント上昇の 22.9 となるものの、光熱費や人件費などのコスト負担感が増しており、業況は依然として厳しいものとなっております。また、サービス内容の同質化から同業者との差別化が難しい中、インターネットを活用した宣伝効果から顧客増加となる企業が見受けられる等、サービスの可視化による差別化が重要となっております。

なお、全国は 5.9 ポイント悪化の▲14.2 となっており、神奈川県は 7.2 ポイント改善の▲2.3 となっております。

来期の予想業況判断は 8.3 ポイント改善の▲4.2 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	25.5	30.4	44.1	D.I. ▲18.6
当期実績	39.5	35.5	25.0	14.5
来期予想	38.2	34.2	27.6	10.6
前年同期比	37.5	31.3	31.2	6.3

料金価格

前期実績	4.6	93.1	2.3	D.I. 2.3
当期実績	31.2	60.5	8.3	22.9
来期予想	10.6	76.7	12.7	▲2.1

資金繰り

前期実績	9.3	51.2	39.5	D.I. ▲30.2
当期実績	10.4	54.2	35.4	▲25.0
来期予想	4.2	57.6	38.2	▲34.0

設備状況

前期実績	2.3	76.8	20.9	D.I. ▲18.6
当期実績		77.1	22.9	▲22.9
来期予想		78.8	21.2	▲21.2

収益

前期実績	25.5	35.0	39.5	D.I. ▲14.0
当期実績	27.0	48.0	25.0	2.0
来期予想	27.6	46.9	25.5	2.1
前年同期比	29.1	35.5	35.4	▲6.3

材料価格

前期実績	25.5	74.5		D.I. 25.5
当期実績	54.1	43.9	2.0	52.1
来期予想	34.0	63.9	2.1	31.9

人手

前期実績	9.5	59.6	30.9	D.I. ▲21.4
当期実績	12.5	48.0	39.5	▲27.0
来期予想	6.3	53.3	40.4	▲34.1

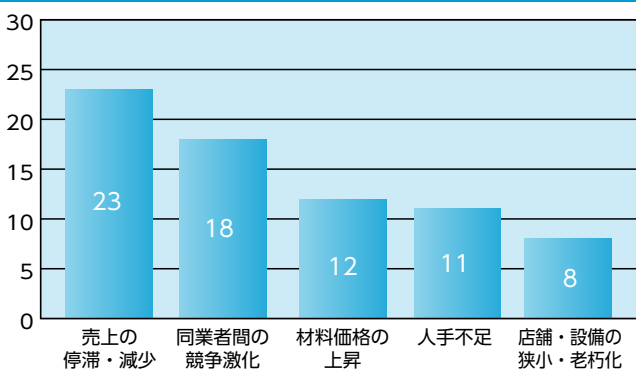
当期実績…26年 4～ 6 月期
来期予想…26年 7～ 9 月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

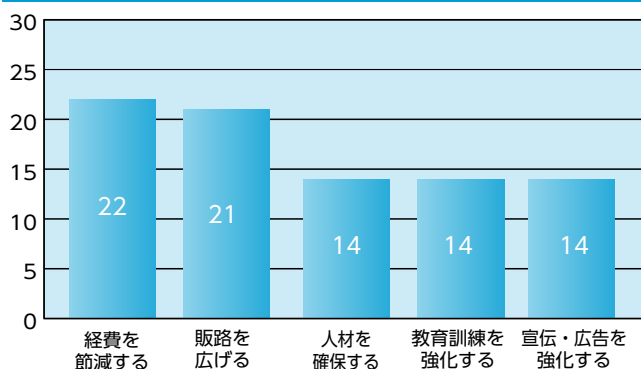
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

建設業の業況判断D.I.は前回調査比28.0ポイント悪化の3.4となりました。

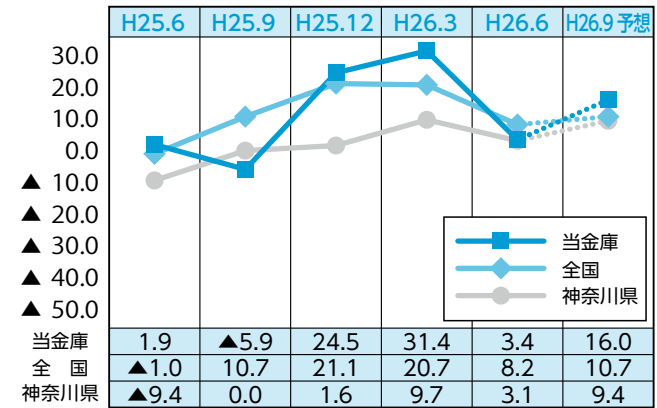
項目別では、売上額D.I.は前回調査比から20.8ポイント悪化の1.8、収益D.I.は12.7ポイント悪化の▲7.0となっております。

前回調査時における天候不順による工期遅れの影響は一部に止まったものの、駆け込み需要の反動減や年度替わりで工事受注に減少がみられる企業もあることから、主要項目の連鎖的悪化を招いたものと思われます。また、材料価格D.I.は20.7ポイント上昇の73.6と調査以来最も高い値となり、約7割の企業が人件費や資材価格等が上昇したと回答していることから、厳しい収益環境となっております。

なお、全国は12.5ポイント悪化の8.2となっており、神奈川県は6.6ポイント悪化の3.1となっております。

来期の予想業況判断は12.6ポイント改善の16.0と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	43.3	36.0	20.7	D.I. 22.6
当期実績	33.3	35.2	31.5	1.8
来期予想	38.1	49.2	12.7	25.4
前年同期比	43.1	38.0	18.9	24.2

請負価格

前期実績	22.6	62.4	15.0	D.I. 7.6
当期実績	15.7	61.5	22.8	▲7.1
来期予想	23.2	64.3	12.5	10.7

在庫

前期実績	-1.8	90.7	7.5	D.I. ▲5.7
当期実績	-10.7	87.6	1.7	9.0
来期予想	-5.4	92.8	1.8	3.6

人手

前期実績	-1.9	48.1	50.0	D.I. ▲48.1
当期実績	-1.7	72.5	25.8	▲24.1
来期予想	-5.1	58.7	36.2	▲31.1

収益

前期実績	26.4	52.9	20.7	D.I. 5.7
当期実績	24.5	44.0	31.5	▲7.0
来期予想	32.1	50.1	17.8	14.3
前年同期比	37.9	41.5	20.6	17.3

材料価格

前期実績	54.7	43.5	1.8	D.I. 52.9
当期実績	73.6	26.4		73.6
来期予想	54.3	44.0	1.7	52.6

資金繰り

前期実績	13.2	66.1	20.7	D.I. ▲7.5
当期実績	12.2	66.8	21.0	▲8.8
来期予想	-8.9	71.5	19.6	▲10.7

設備状況

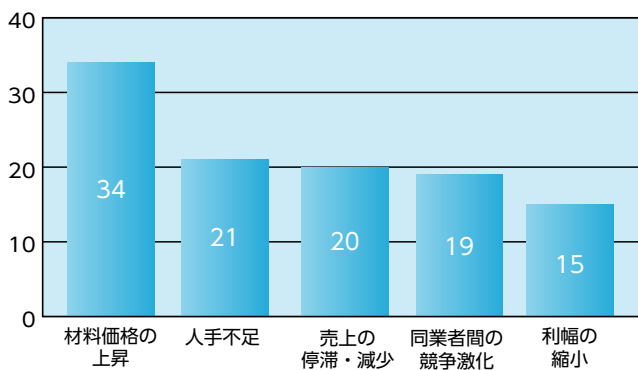
前期実績	-1.9	86.4	11.7	D.I. ▲9.8
当期実績	-3.5	89.4	7.1	▲3.6
来期予想		91.1	8.9	▲8.9

当期実績…26年 4～6月期
来期予想…26年 7～9月期

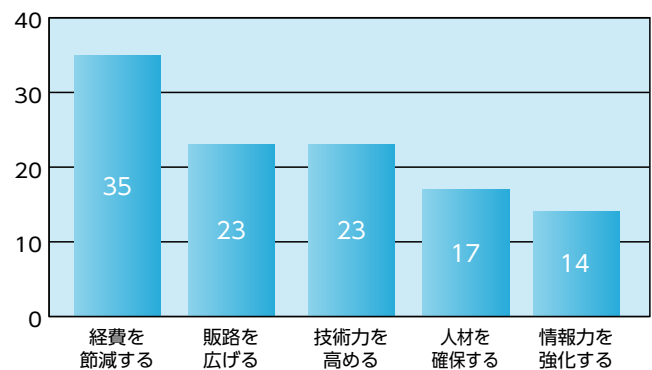
□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

□ 過剰、楽
□ 適正
□ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

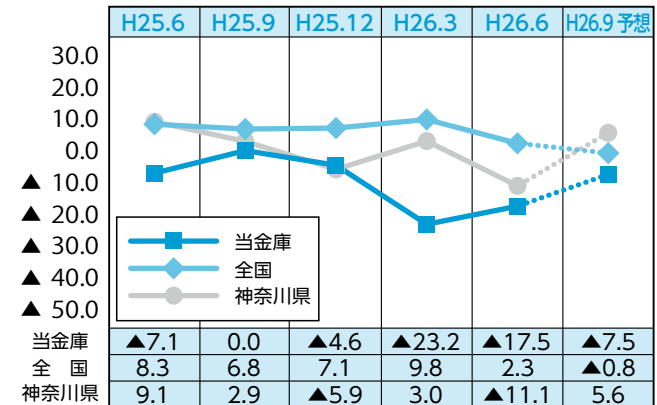
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.7 ポイント改善の ▲17.5 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 1.7 ポイント改善の ▲10.0、収益 D.I. は 0.9 ポイント悪化の ▲12.5 となっております。前回調査時に懸念されていた消費増税の影響については、それほど感じないという声が多く見受けられる中、約半数の企業が商品物件の不足を経営上の問題点としており、仕入価格 D.I. は 3.0 ポイント上昇の 12.5 となっております。今後については、住宅ローン減税の拡充や新しく新設された住宅取得支援施策の動向に注力する動きもみられます。

なお、全国は 7.5 ポイント悪化の 2.3 となっております、神奈川県は 14.1 ポイント悪化の ▲11.1 となっております。

来期の予想業況判断は、10.0 ポイント改善の ▲7.5 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	16.2	55.9	27.9	D.I. ▲11.7
当期実績	20.0	50.0	30.0	▲10.0
来期予想	25.0	45.0	30.0	▲5.0
前年同期比	27.5	37.5	35.0	▲7.5

販売価格

前期実績	-2.3	76.8	20.9	D.I. ▲18.6
当期実績	-5.0	67.5	27.5	▲22.5
来期予想	-7.5	67.5	25.0	▲17.5

在庫

前期実績	-4.6	42.0	53.4	D.I. ▲48.8
当期実績	10.2	33.4	56.4	▲46.2
来期予想	10.2	48.8	41.0	▲30.8

人手

前期実績	-2.3	65.2	32.5	D.I. ▲30.2
当期実績	-5.0	67.5	27.5	▲22.5
来期予想	-5.0	72.5	22.5	▲17.5

収益

前期実績	18.6	51.2	30.2	D.I. ▲11.6
当期実績	20.0	47.5	32.5	▲12.5
来期予想	15.0	57.5	27.5	▲12.5
前年同期比	25.0	37.5	37.5	▲12.5

仕入価格

前期実績	21.4	66.7	11.9	D.I. 9.5
当期実績	25.0	62.5	12.5	12.5
来期予想	12.5	77.5	10.0	2.5

資金繰り

前期実績	-6.9	79.2	13.9	D.I. ▲7.0
当期実績	15.0	62.5	22.5	▲7.5
来期予想	-7.5	80.0	12.5	▲5.0

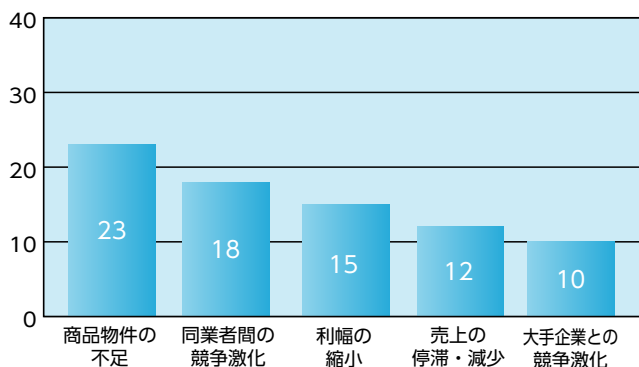
当期実績…26年 4～6 月期
来期予想…26年 7～9 月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

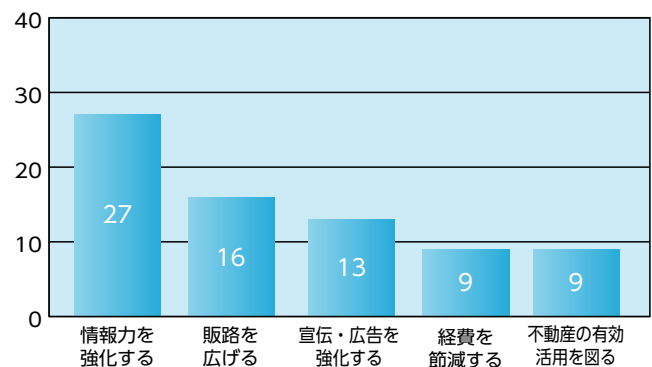
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 335 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. マイクロソフト社のパソコンの基本ソフト「Windows XP」のサポートが4月に終了し、買換えなどの対応が推奨されています。貴社では、「Windows XP」パソコンを現在も使用していますか。

- | | | |
|---|--------------------------------|--------------------|
| ・すでにXPを使用していない | ・現在もXPを使用している | ・わからない |
| 1. 対応（買換え等）が終了した…………… 176 社 | 4. 業務繁忙のため使用中（買換え予定）… 51 社 | 0. わからない…………… 20 社 |
| 2. もともと Windows XP は使用していない … 43 社
（Mac などを使用している） | 5. 買換えの資金が不足している…………… 7 社 | |
| 3. 自社にはパソコンがない…………… 9 社 | 6. システムや周辺機器が XP しか対応できない… 6 社 | |
| | 7. インターネットに接続しないため買換え不要… 9 社 | |
| | 8. サポート終了を知らなかった…………… 1 社 | |
| | 9. その他…………… 3 社 | |

問2. 貴社では、事業上（販売、調達、資金決済、宣伝広告など）でインターネット（パソコン、スマートフォン、タブレット端末など）を活用していますか。最大で3つまでお答えください。

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| 1 位 販売・受注・見積もり受託等 …………… 163 社 | 6 位 市場調査・マーケティング …………… 41 社 |
| 2 位 自社のホームページによる宣伝広告 …………… 114 社 | 7 位 顧客への説明・プレゼンテーション …………… 40 社 |
| 3 位 インターネットバンキングによる資金決済 …………… 99 社 | 8 位 電子債権（でんさいネット、ファクタリング等）… 10 社 |
| 4 位 調達・仕入れ等 …………… 83 社 | 9 位 メールマガジンによる宣伝広告 …………… 7 社 |
| 5 位 活用していない …………… 59 社 | 9 位 その他 …………… 7 社 |

問3. インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築する「ソーシャルネットワーキングサービス（以下 SNS）」の利用が拡大していますが、貴社では、こうした SNS 等を事業上の情報収集・発信に利用していますか。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| ・SNS を利用している | ・SNS を利用していない |
| 1. Facebook（フェイスブック）…………… 33 社 | 6. 以前利用していたがやめた …………… 2 社 |
| 2. Twitter（ツイッター）…………… 5 社 | 7. 利用を開始する予定 …………… 4 社 |
| 3. LINE（ライン）…………… 13 社 | 8. 利用を検討したい …………… 44 社 |
| 4. mixi（ミクシィ）…………… 1 社 | 9. わからない …………… 108 社 |
| 5. その他 …………… 5 社 | 0. 今後も利用しない …………… 106 社 |

問4. 貴社では、これまで行ってきた IT 投資（コンピュータ、ネットワーク関連機器・ソフトウェアの購入、利用環境の整備等全般）の費用対効果について、どのように感じていますか。また、今後の IT 投資の計画について、どのように考えられていますか。

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| ・IT 投資の満足度 | ・今後の IT 投資の計画 |
| 1. 大いに満足している …………… 24 社 | 6. 拡充する予定 …………… 55 社 |
| 2. やや満足している …………… 133 社 | 7. 現状維持の予定 …………… 149 社 |
| 3. あまり満足していない …………… 49 社 | 8. 縮小する予定 …………… 2 社 |
| 4. まったく満足していない …………… 7 社 | 9. IT 投資は行わない …………… 109 社 |
| 5. もともと IT 投資を実施していない…………… 101 社 | |

問5. 貴社では、IT（情報技術）化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。最大で3つまでお答えください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1 位 セキュリティの確保への不安 …………… 118 社 | 5 位 導入・維持にかかるコスト負担が大きい …………… 65 社 |
| 2 位 情報分野に長けた社員の不足 …………… 79 社 | 7 位 特に問題点・課題はない …………… 62 社 |
| 3 位 活用方法に関する知識の不足 …………… 70 社 | 8 位 技術革新が速すぎて対応しきれない …………… 45 社 |
| 4 位 トラブル発生時の対応が困難 …………… 68 社 | 9 位 経営者・社員が必要と感じていない …………… 29 社 |
| 5 位 費用対効果の把握が困難 …………… 65 社 | 10 位 その他 …………… 6 社 |

無料 専門家派遣を活用しませんか？

ミラサポ
企業の企業支援サイト

今回は、中小企業・小規模事業者の方々に無料でご利用いただける中小企業庁が支援する専門家派遣事業のご紹介をいたします。

【内容について】

中小企業や小規模事業者の方々が抱える様々な経営に関する課題に対し、中小企業診断士をはじめ、経営・技術等の専門的な知識を有する専門家に、無料でご相談いただける制度です。派遣による相談は、年間3回まで無料です。

【専門家派遣の流れについて】

- ①「地域プラットフォーム」「よろず支援拠点」へ相談
- ②専門家を決定
- ③ミラサポへの会員登録
- ④専門家派遣依頼申し込み（地域プラットフォームまたはよろず支援拠点が、専門家へ派遣申し込みを行います。）
- ⑤専門家派遣実施

当金庫も地域プラットフォーム構成機関となっておりますので、お気軽にご相談ください。

※地域プラットフォームとは、中小企業者等支援のための地域ネットワークです。

※専門家派遣には、中小企業庁が立ち上げた中小企業・小規模事業者の方々にサポートする情報提供サイト「ミラサポ」への登録が必要となります。

